



# マイタケの花粉症モデルマウスに対する抗アレルギー作用



弊社研究所と富山大学大学院医学薬学研究部 応用薬理学研究室  
安東嗣修准教授との共同研究の結果、

マイタケが、花粉症のアレルギー症状を改善させる可能性を示す研究結果が得られました。

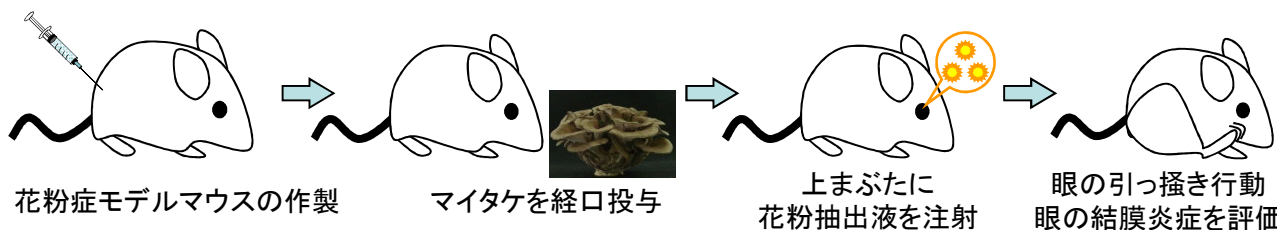
## 背景・目的

我々はこれまでに、マイタケの細胞レベルでの抗アレルギー作用を明らかにしてきました。そこで、本研究では、さらに動物レベルでのマイタケの抗アレルギー作用を明らかにするため、花粉症モデルマウスを作製し、マイタケ摂取の効果を検討しました。

## 実験方法

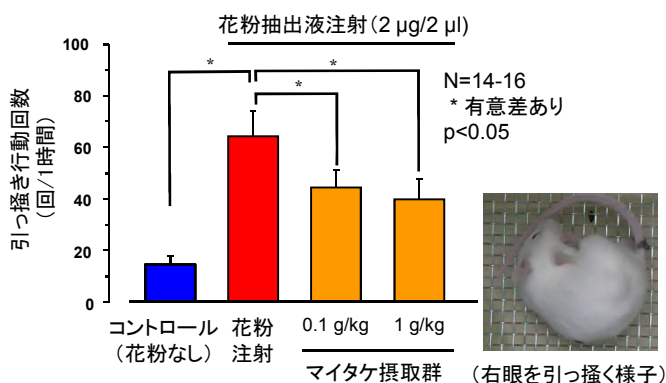
マウスにブタクサ花粉を3週間皮下注射することで花粉症モデルマウスを作製しました。花粉症モデルマウスは症状の差がないように群分けを行った後、マイタケ粉末を経口投与しました。投与1時間後にブタクサ花粉抽出液を上まぶたに注射し、後肢による目の引っ掻き行動回数と結膜の炎症状態を評価しました。結膜炎の評価は色素を注射した同マウスにおいて、花粉抽出液注射後に結膜に漏れ出てくる色素量を測定することで評価しました。

## 花粉症モデルマウスを用いたマイタケの抗アレルギー作用の検証

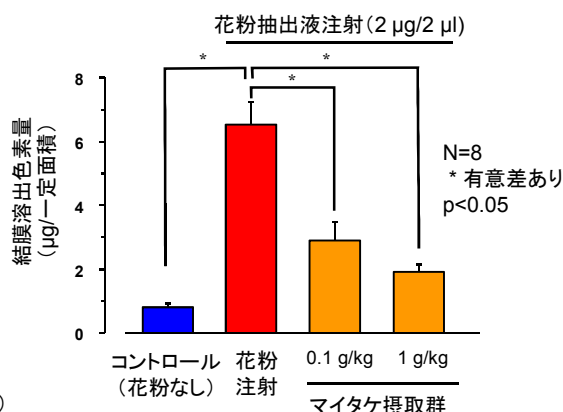


## 実験結果

### マウスの引っ掻き行動の観察



### 結膜炎の評価



ブタクサ花粉によって引っ掻き行動回数の増加、結膜炎が誘発されましたが、単回のマイタケ摂取により、有意に抑制されました。

以上の結果から、マイタケは花粉症のアレルギー症状を改善する効果が期待できると考えられました。

上記の研究結果は、日本薬学会第134年会(2014年)にて発表されました。



ホクト株式会社

本社〒381-8533 長野市南堀138-1 TEL: 026-243-3111(代表)

※無断での複製・転載・使用を固くお断り致します。